

日本文化「畳」を後世につなぐ

堀田畳製作所

代表	堀田 登喜夫氏 (山梨県畳同業組合連合会 専務理事)
所在地	甲府市上曾根町3662-31
業種	畳製造業
設立	大正2年(1913年)



社の創業は大正2年で、長年に渡り地域の畳店として経営する傍ら、茶室や重要文化財である神社仏閣の畳も手掛けてきました。私と妻、京都で修業を積んだ2人の息子4人で経営しています。畳表の原料となる「い草」は、日本一の産地・熊本県の契約農場から仕入れ、安心・安全そして良質な国産畳の製造・納入にこだわっています。

畳の製造工程は時間がかかり、営業や販促活動に当てる時間の確保が課題でした。そこで、平成29年にものづくり補助金を活用し、製造ラインを合理化して、朝お預かりして夕方お届けすることが出来る畳の短納期化を実現しました。即日仕上げの出来るエリアを商圈として展開する販促活動では単なる営業チラシでなく、定期的に当社の近況を伝える内容のニュー

スパーを配布しており、地域の情報収集や口コミに繋がっています。

事業承継については、自らの意思で事業を受け継いでくれたらという思いで、親が楽しく仕事をする姿を見せてきました。息子たちは畳職人を選んだことから、親の背中では畳業の魅力を伝えることが出来たのだと思います。息子の入社した当初は、京都で得た技術や、国家資格「一級畳製作技能士」としての確かな技能をPRしたことが功を奏し、入社間もなくして早速仕事が舞い込みました。スムーズな事業承継の道筋を作ることができたと思います。

畳需要の減少や後継者不足に悩む事業者がいる業界ですが、日本の畳を後世に残す責務があると感じています。今後は私たちの取組みが1つのビジネスモデルとして業界に伝播していくと幸いです。当社では高機能の畳のほか襖や障子も取り扱っております。和室に関する様々な相談窓口として、地域密着、地域一番店を目指しています。



担当：河野



オ

ピ

ニ

オ

シ

OPINION